

第六回

雅

楽

の

夕

に、

うたをつなぐ日。
東日本大震災復興祈念



大崎八幡宮の国宝ご社殿前で、
千数百年を生き続けてきた
雅楽をいっしょにうたう日。
楽器をお持ちの方も、ふるってご参加ください。
さあ、今年も。
いっしょに、雅楽をうたいましょう。

平成28年8月13日(土) 午後4時～午後6時

大崎八幡宮境内

参加無料

●雅楽演奏・舞／芝祐靖、宮田まゆみ、伶楽舎、大崎八幡宮職員、雅楽愛好一般の方々多数

●参加／無料 ●ご報告／小野目博昭、宮田まゆみ

●主催／「雅楽の夕に」実行委員会



雅楽、うたのちからと共に

「雅楽の夕に、」実行委員・笙奏者 宮田まゆみ

東日本大震災の年の夏から、仙台・大崎八幡宮の境内で「雅楽の夕に、」を催してきました。今年で6回目になります。遠い昔からこの国に伝わる「雅楽」という音楽を通して共に前に進んでいこう、という強い願いを込めてはじめての会です。被災された地域には、雅楽や神楽などを大切に保存し続けていた方々が多くいらっしゃったこともきっかけでした。

毎年、雅楽を習いはじめたばかりの人も、何十年の演奏の経験を持つ専門家もひとつの舞台にのって、さらには聴きにいらしたお客さまも一体となって、力強くうたい、奏でます。会を催す私たちが、いつも勇気づけられるようです。

今年また大きな災害が日本を襲いました。地球という生命体の上で暮らしているからには避けられない自然現象かもしれません。時には無力感にとらわれることもあるかもしれませんが、私たちは力を合わせて進んでいけるはずで

大崎八幡宮 宮司 小野目 博昭

5年半が過ぎます。

この「雅楽の夕に、」も6回目を迎えます。平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、北は青森から南は千葉までの沿岸四百数十キロにわたり多大な被害をもたらしました。あれから5年半、なかにはまだ5年とのお考えの方もおられると思います。この5年半の間、あちらこちらで起こる自然災害が多発する状況に、私共はどの様に過ごしてきたのだろうか考える毎日が続いています。当宮では、出来る限りの支援活動を続けてまいりましたが、「果たして私共が行ってきた活動は充分だったのだろうか」「もっと何か出来る事がなかっただろうか」との思いが頭をよぎります。この「雅楽の夕に、」では、芝 祐靖、宮田まゆみ両先生を始め伶楽舎の皆様方のご協力のもと、雅楽演奏を通じて復興支援を継続して頂いております。

千数百年の時を生きてきた「雅楽」をごく身近に体験することにより、皆様方が心一つにすることが出来ればとの思いではじめた催しです。私共も日頃の演奏とは違うなごやかな雅楽を楽しませて頂いており、これも偏に八幡大神様のご加護の賜物と感謝しております。

まだ5年、もう5年。人はそれぞれに感じ方が違っていても、私たちは常に前を向き進んで行かなければなりません。

人は、一人では生きてはいけません。これからも、八幡さまとご縁、雅楽とのつながり、人と人とのつながりに感謝し、進んで行きませんか。八幡さまは常に私達をご覧になっておられます。我が国の伝統と文化とを次代に引き継ぐために。

Program

演奏曲目

萬歳楽 まんざいらく

五常楽急 ごしょうらくのきゆう

越天楽 えてんらく

芝 祐靖 横笛独奏 〈伎楽きがく〉より

歌のワークショップ 萬代の歌 よろずよのうた

萬代の舞 よろずよのまい

.....

芝 祐靖作曲 〈ポン太と神鳴りさま〉より

天麗人 あまれびと 喜楽の舞 きらくのまい

中村仁美 箏築独奏

伊左治直作曲〈舞える笛吹き娘〉より

皇靈急 おうじゆうのきゆう

浦安の舞 うらやなのまい

ほか

*五常楽急、越天楽、萬代の歌、皇靈急は参加希望の皆さまと一緒に演奏します。ふるってご参加ください。

出演者プロフィール

芝 祐靖 (しば すけやす)

800年余り続く奈良系の伶人の家に生まれ、宮内庁楽部楽師をつとめた後ソロ活動に入る。1985年に雅楽演奏団体〈伶楽舎〉を結成。古典雅楽の演奏のほか、現代雅楽、邦楽の作曲・演奏を行い、雅楽廃絶曲の復曲も手懸ける。日本芸術院会員。文化功労者。伶楽舎音楽監督。国立音楽大学招聘教授。

宮田まゆみ (みやたまゆみ)

笙奏者。古典雅楽はもとより現代作品の初演を積極的に行い、NHK交響楽団、ニューヨーク・フィルなど国内外のオーケストラとの共演も数多い。大崎八幡宮の舞と笙の教習に携わっている。伶楽舎メンバー。国立音楽大学客員教授。

中村仁美 (なかむらひとみ)

箏築奏者。伶楽舎メンバー。雅楽の古典演奏を基本としつつ、雅楽以外の和・洋楽器との共演や、舞踏や書とのコラボレーション、即興演奏まで幅広く演奏活動を続けている。国立音楽大学、沖縄県立芸術大学非常勤講師。

伶楽舎 (れいがくしゃ)

1985年、芝祐靖により結成された雅楽演奏団体。発足以来、現行の古典雅楽曲以外に、廃絶曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、国内外で幅広い活動を展開している。

小野目 博昭 (おのめひろあき)

大崎八幡宮宮司。仙台市生まれ。國學院大學神道学専攻科修了の後、鎌倉鶴岡八幡宮に奉職。昭和56年大崎八幡宮に転入。62年より大崎八幡宮宮司。平成23年の東日本大震災後、神社をあげて積極的な支援活動を続けている。

主催／「雅楽の夕に、」実行委員会

お問い合わせ 大崎八幡宮社務所 ☎022-234-3606 oosaki@oosaki-hachiman.or.jp